

人文学科

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

人文学科では、人間文化に関する学びを通して現代社会に貢献できる「企画する力」「実行する力」「協調する力」「持続する力」を身につけ、以下に掲げる学修成果とともに、所定の124単位を修得した学生に、「学士（人文学）」の学位を授与する。

<知識・理解>

1. 人文学に関する確かな知識を修得している。

<汎用的技能>

2. 人文学の専門的知識をもとに、現代社会の要請に緊密に対応できる柔軟で応用力のある技能を身につけている。

<思考力・判断力・表現力>

3. 人文学の学びを通して多角的な視点から熟考する思考力と、他者の発言に耳を傾け、自分の意見を述べる対話力を身につけている。

<関心・意欲・態度>

4. 自分のテーマを追求し、各分野において現存する問題を発見して、それを解決する実践力を身につけている。
5. 専門的知識を体系的に積み上げ、各分野に必要な資格取得をめざすとともに、継続的な学修の重要性を理解している。

<総合的な学習経験>

6. 日本文学、歴史・サブカルチャー、仏教文化、心理、国際コミュニケーション、ビジネス・社会の各分野の教育カリキュラムにおける専門性として、以下のいずれかの要件を満たしていること。

(日本文学)

- ① 文学研究を通して、人間や社会への理解を深め、そこで得た知見を口頭や文章で的確に伝える表現力を身につけている。
- ② 国語科教員をめざす学生は、国語教育に関する専門知識と技能を有し、教育者に必要な豊かな人間性と高度な社会性を身につけている。

(歴史・サブカルチャー)

- ① 日本の歴史文化の特質を解明する力を身につけている。
- ② アニメ・マンガ・ゲーム・SFなどのサブカルチャーについて、日本文化としての可能性や現代社会における意味を多面的・全体的に分析できる力を身につけている。

(仏教文化)

- ① 僧侶をめざす学生は、現代社会に生きる僧侶としての実践力・寺院運営力・企画力の必要性を理解し、仏教学・真宗学の基礎を身につけている。
- ② 宗教・仏教の学びを通して、他領域と対話することのできる広い視点と人間力を身につけている。

(心理)

- ①臨床心理学、発達臨床心理学などを学び、自己理解・他者理解を深めて対人関係スキルを向上させ、他者をサポートできる力を身につけている。
- ②社会心理学、産業・組織心理学などを学び、企業・組織・社会と人間の心理や行動の関係について、考察・提言できる力を身につけている。

(国際コミュニケーション)

- ①異文化研究を通して、広い視野と柔軟なもの見方・考え方を養い、ものごとを適切に判断するバランス感覚をもって、グローバル社会で活躍できる力を身につけている。
- ②多様な文化への知識を学び、実用的な英語力を高めることで、国や地域を越えて様々な人とコミュニケーションできる力を身につけている。

(ビジネス・社会)

- ①ビジネス、企業経営について学び、グローバル社会で活躍できる力を身につけている。
- ②現代社会のさまざまな問題を広い視野から理解し、具体的な社会調査の方法や、客観的で多角的な視点から社会を分析できる力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

人文学科では、全学共通の「共通教育科目」と学科の「専門科目」で教育課程を編成する。「専門科目」は、各分野の「専門関連科目」によってカリキュラムを編成する。日本文学、歴史・サブカルチャー、仏教文化、心理、国際コミュニケーション、ビジネス・社会の各分野の教育カリキュラムにおける専門性を身につけるために、学びの基礎となる「ゼミナール科目」「入門科目」「キャリア支援科目」を履修し、3年次より1分野を選択して学生各自の興味・関心、能力・将来に応じた教育を行う。

1. 初年次教育

大学での学びに必要なスタディスキル（学習の方法）と人文学に関する基礎的な知識を修得するために、ゼミナール科目の「基礎演習」、入門科目の「人文学概論」、キャリア支援科目の「主体的学習法」を1年次に配置し、大学教育の自主的な学びに円滑に移行できるよう教育を行う。

2. ゼミナール科目

1年次前期から4年次後期まで在学中の全学期において体系的な学びができるよう、必修科目として1年次に「基礎演習」（前後期4単位）、2年次に「専門基礎演習」（前後期4単位）、3年次に「専門応用演習」（前後期4単位）、4年次に「専門研究演習」（前期2単位）・「卒業研究」（後期2単位）の「ゼミナール科目」（計8科目）を配置し、年次進行に合わせて教育を行う。

3. 入門科目

人文学の幅広い教養を身につけ、それぞれの学生が3年次より選択する各分野の専門領域を知るための科目として、必修科目「人文学概論」（1年前期2単位）を含む、「入門科目」（計9科目）を1年次に配置して教育を行う。

4. キャリア支援科目

現代社会の一員として責任を果たすための「企画する力」「実行する力」「協調する力」「持続する力」を身につけるために、必修科目である「主体的学習法」（1年次前期2単位）、「グループワーキング演習」（2年次前期2単位）、「社会人基礎力形成演習」（2年次後期2単位）を含む、「キャリア支援科目」（計6科目）を配置して教育を行う。

5. 学科全体の学び

現代社会の要請に緊密に対応できる、人文学の専門知識を修得し、柔軟で応用力のある技能を身につけるために、分野を越えた履修を奨励し、学生の興味・関心を広げるよう教育を行う。

1 人文学部での学び

情報があふれ、めまぐるしく変化する社会に柔軟に対応するため、人文学科では下記の学びを通して、広範な知識と多角的な視点を身につけ、深い洞察力を養います。

1、2年次はコース（専攻）に所属せず、人文学の様々な領域から科目を選択し、広く学ぶことができます。3年次からはコース（専攻）に所属して、コース（専攻）の科目を中心に履修し、深く専門分野を追究します。4年次には自分のテーマを決めて、卒業研究を作成します。

- (1) 入門科目は、1年次の前期と後期に担当される人文学に関する基礎的な知識を学ぶ授業科目です。1年次前期の必修科目『人文学概論』を含め、8単位以上の修得が必要です。
- (2) ゼミナール科目は、1年次前期から4年次後期まで在学中全学期に担当されています。計8科目、すべて必修科目です。1、2年次の基礎ゼミナールではアカデミック・スキルを身につけます。3、4年次はコース（専攻）ごとのゼミナールで、卒業研究の完成をめざして、専門知識と研究方法を学びます。
- (3) キャリア支援科目は、社会人スキルを身につけるための科目です。1年次前期の必修科目『主体的学習法』、2年次前期の必修科目『グループワーキング演習』、2年次後期の必修科目『社会人基礎力形成演習』を含め、8単位以上の修得が必要です。
- (4) 専門関連科目は、人文学科の6つのコース（専攻）に関する専門的な科目群です。卒業には、自分のコース（専攻）で指定されている専門関連科目から30単位以上修得することが必要です。

2 コース（専攻）

人文学科には、「日本文学コース（専攻）」、「歴史・サブカルチャーコース（専攻）」、「仏教文化コース（専攻）」、「心理コース（専攻）」、「国際コミュニケーションコース（専攻）」、「ビジネス・社会コース（専攻）」があります。3年次より、コース（専攻）に所属して学びます。所属するコース（専攻）は、2年次後期に決定します。

3 卒業研究

4年間の学びの集大成として4年次後期に必修科目『卒業研究』を履修し、卒業研究を作成します。3年次前期『専門応用演習A』、3年次後期『専門応用演習B』、4年次前期『専門研究演習』、4年次後期『卒業研究』という2年間のゼミで、卒業研究の完成をめざします。

卒業研究に関する手続きは以下の通りです。

1. 卒業研究の作成にあたっては、指導教員の許可を得て、所定の用紙により、研究題目届を提出しな

ければなりません。

2. 研究題目を変更する場合は、指導教員の許可を得て、所定の用紙により、研究題目変更届を提出しなければなりません。
3. 卒業研究は所定の様式によって提出しなければなりません。

	提出期間	提出先
1. 研究題目届	6月20日～7月5日	教学課
2. 研究題目変更届	11月20日～12月3日	
3. 卒業研究	12月17日～12月20日 午後5時30分まで	

注) 期日が日曜日と重なる場合は、その翌日の月曜日が期日となります。

4 カリキュラム・ツリー

人文学科では、各科目がどのように関連し、年次配当されているかをカリキュラム・ツリーに示しています。それぞれのコース（専攻）のディプロマ・ポリシーに従って、太線は専門領域の段階的な学びを、点線は他領域との接続を表しています。

5 免許・資格

人文学科では、下記の免許や資格を取得することができます。科目については、記載しているページを確認してください。

- ◆ 中学・高校一種免許状（国語）【日本文学コース（専攻）】 p.189
- ◆ 中学・高校一種免許状（宗教）【仏教文化コース（専攻）】 p.190
- ◆ 学校図書館司書教諭 p.191
- ◆ 図書館司書資格 p.212
- ◆ 浄土真宗本願寺派教師基礎資格検定免除課程 p.196
- ◆ 宗教文化士 p.200～201
- ◆ 認定心理士 p.202
- ◆ 公認心理師 p.203
- ◆ 社会調査士 p.204
- ◆ 学校司書 p.213